

解答例

名物メンパ最中 2年ぶりに復活

葵区井川の地元有志

静岡市葵区井川地区の地元銘菓として親しまれていた「メンパ最中（もなか）てしやまんく」が、地元有志らの手により約2年ぶりに復活、来月から販売が始まる。関係者は「井川名物のお土産として、これから大事に育てていきたい」と期待している。

「メンパ最中でてしやまんく」は、同地区で製菓店を経営していた故鈴木正義さん(80)が55年ほど前、井川の朝市が始まった時に土産物として考案したのが始まり。特産の民具「メンパ」をかたどった皮に甘さを控えた小豆あんをユズ餅をくるんだ。商品名は地元の実在したという伝説の力持ち「てしやまんく」から名付けた。

ユズ餅に「土産物に育てたい」 小豆あん

来月から販売が始まる「メンパ最中でてしやまんく」と復活に関わった西川さん(左)、栗下理事長(静岡市葵区井川)



当。「レシピが残っておらず、皆に試食をしてもらいながら何度も作り直して当時の味に近づけた(西川さん)という。完成品を味見した栗下理事長は「当時の味と一緒でおいしかった。復活を」(写真部・坂本豊)

聞きつけた人から、早くも注文が入っています」と目を細めた。

2020年
4月21日
朝刊
中部版

①「土産」は何と読みますか。まだ学習していなくても、記事をヒントに考えてみましょう。

[みやげ]

② 記事中から、最中(もなか)の名前にもなっている「てしやまんく」の意味が書かれている部分を探し、その右側に線を引きましょう。

③ 「メンパ最中でてしやまんく」には、どのような期待が込められていますか。その期待を記事中から探し、30字以内で書きましょう(句読点をふくみます)。

井	川	名	物	の	お	土	産	と	し	て	、	こ	れ	か
ら	大	事	に	育	て	て	い	き	た	い	。			

年 組 名前